

# 高齢者施設における救急要請の現状と課題

令和7年3月6日  
堺市消防局 救急部 渡部

## 目 次

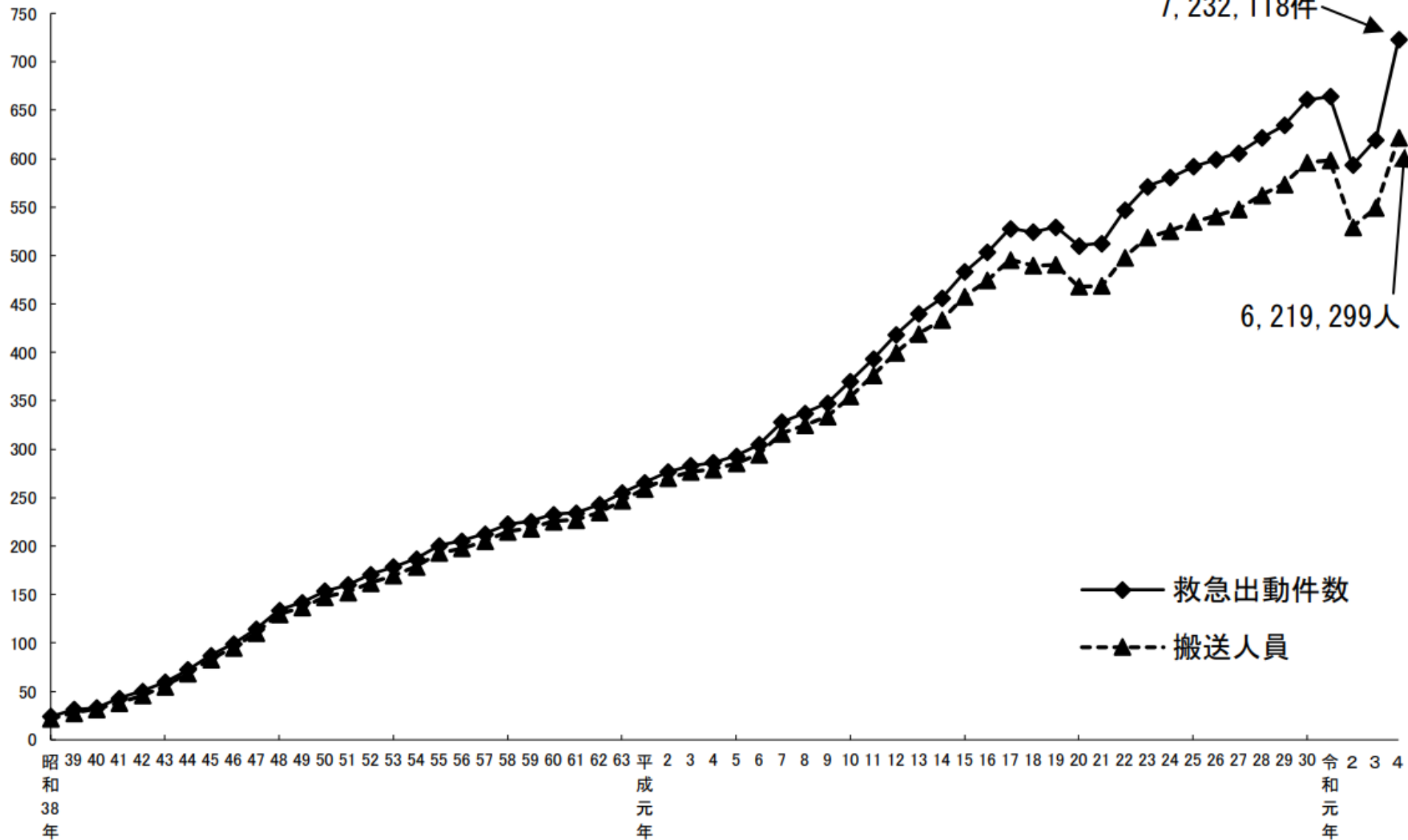
- 消防救急の現状
- 消防の救急業務
- 将来の社会情勢を踏まえた対応策

## 目 次

- 消防救急の現状
- 消防の救急業務
- 将来の社会情勢を踏まえた対応策

# 消防救急の現状

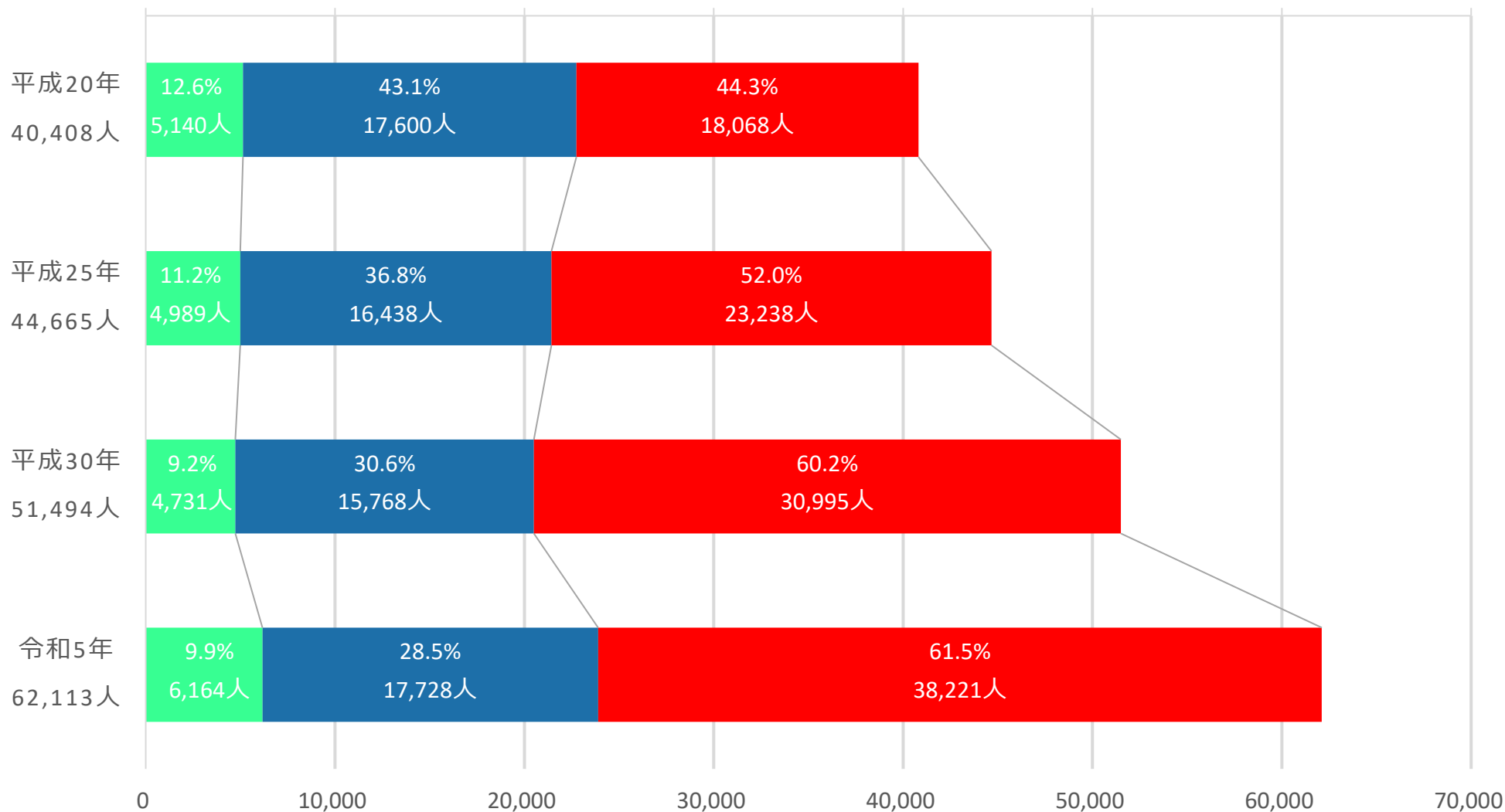
(万件・万人)



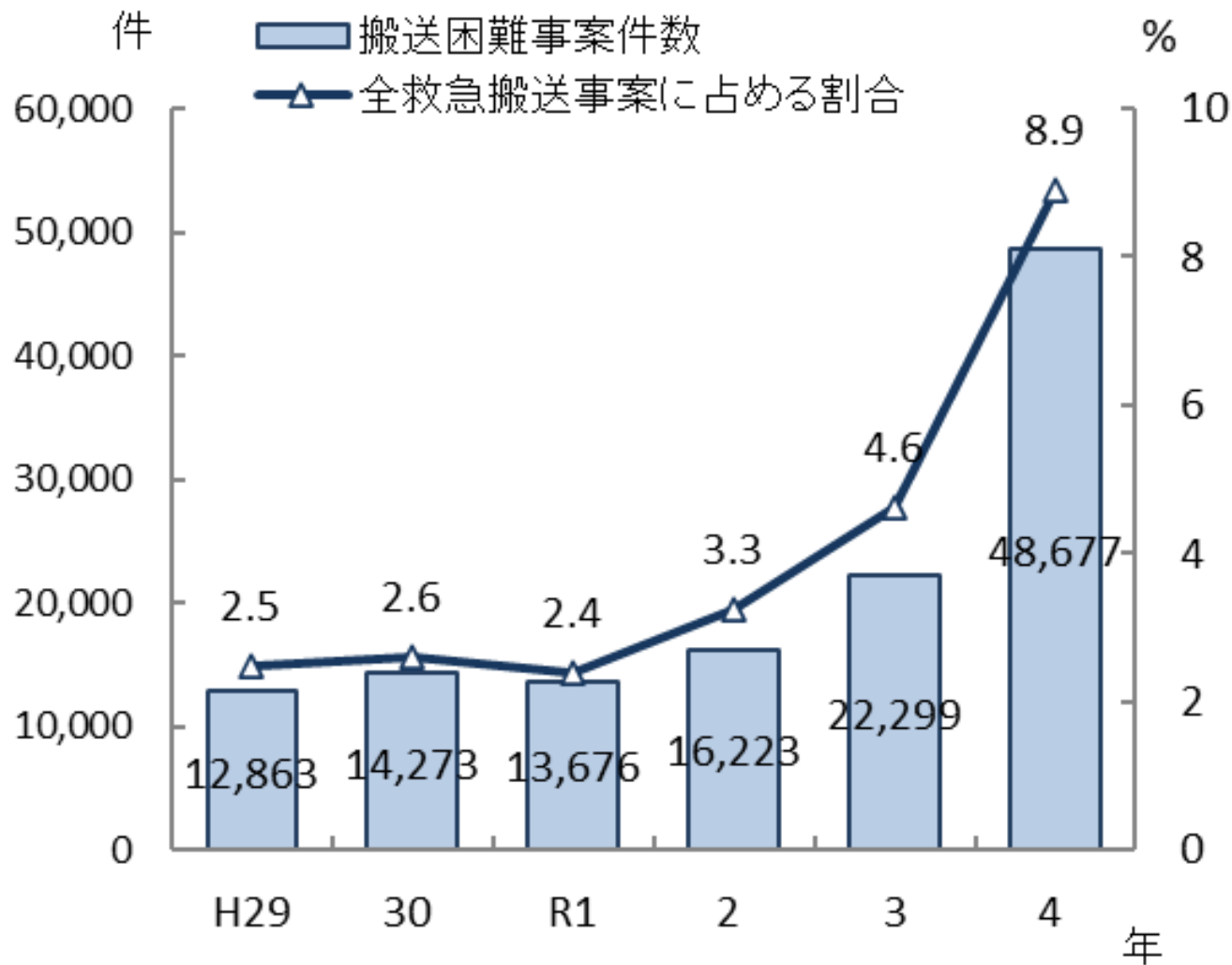
# 消防救急の現状

## 年齢区分別の搬送人員と5年ごと構成比の推移（堺市消防局）

■ 成人未満 ■ 成人 ■ 高齢者



## 大阪府の搬送困難事案



## 高齢者施設へ救急出場したとき・・・

- 誘導がなく、玄関が施錠されている
- 傷病者の情報がわかっていない
- 傷病者本人や家族等の意向確認が取られていない
- 付き添いなしで傷病者ひとりでの搬送になる
- 応急手当（心肺蘇生）が実施されていない
- 心肺蘇生しないでと言われる
- DNARっぽい書面が出てくる etc



# 将来の社会情勢を踏まえた対応策

## 救急活動時、心肺蘇生を望まない意思を伝えられた症例

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	総計
救急活動時、 心肺蘇生を望まない意思を伝えられた症例	2	44	33	9	27	115
搬送（CPR実施）	1	25	17	5	14	62
搬送（CPRなし）	0	0	1	0	2	3
不搬送	1	19	15	4	11	50

※令和7年2月5日時点速報値



## DNARっぽい書面の例

急変時の治療についての同意書

[Redacted] 号  
 特別養護老人ホーム [Redacted]  
 施設長 [Redacted]


日頃は、当施設の活動に、暖かいご理解とご協力を頂き、有難うございます。

入所者様が万が一、入所中に急変した場合、救急搬送後の救命処置について

延命治療を  希望する  
 希望しない

平成 24 年 7 月 20 日

入所者氏名 [Redacted] 様  
 ご家族氏名 [Redacted] 様  
 住所 [Redacted]  
 続柄 [Redacted]

施設長確認印  


心肺蘇生等に関する医師の指示書（例）

当該患者が心肺停止となった場合、患者（あるいは代諾者）の自発的な意思に基づいて行われた「心肺蘇生等を受けない」決定を尊重し、心肺蘇生等を実施しないでください。指示にあたっては標準的な医療水準等を考慮し、患者（代諾者）と多専門職の医療従事者間において十分な話し合いを行ったうえで、意思決定についての合意が形成されています。

患者氏名： \_\_\_\_\_ 生年月日： \_\_\_\_\_ 年 月 日  
 連絡先電話番号： \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_  
 住所： \_\_\_\_\_ 県 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 町  
 病状の概要：（終末期の状況など）

医師署名欄： \_\_\_\_\_ 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 医療機関の名称： \_\_\_\_\_  
 所在地 \_\_\_\_\_ 県 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 町  
 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_  
 もしくは \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ （時間外など）

<患者（代諾者）記入欄>  
 私は、何者にも強制されず、治療についての判断ができる状態で「心肺蘇生等を受けない」決定をしました。心肺蘇生等を受けなければ命が失われることを理解したうえで、上記の指示内容についてかかりつけ医等と十分に話し合い、ここに同意いたします。<sup>2,3</sup>

患者署名欄<sup>4</sup>： \_\_\_\_\_ 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 （代筆した場合、代筆者の氏名： \_\_\_\_\_ 患者との関係： \_\_\_\_\_）  
 代諾者署名欄<sup>5</sup>： \_\_\_\_\_ 患者との関係： \_\_\_\_\_

## 高齢者救急に関する救急医療機関の声

- 入り口問題
  - ・病状把握が困難である  
（複数疾患、老老介護）
  - ・普段の医療情報（既往歴、内服薬など）の把握が困難
  - ・家族の有無、連絡先が分からない（医療同意が得られるかわからない）
  - ・蘇生処置、延命処置に対する意向がわからない
  - ・かかりつけ医の情報がわからない
- 出口問題
  - ・元のADLに回復しないことが多い  
（家族の介護力、施設の対応、経済的問題、制度上の問題が発生）
  - ・医療機能の点から慢性期病院とのマッチングが難しい
  - ・介護認定に時間がかかる

## 目次

- 消防救急の現状
- 消防の救急業務
- 将来の社会情勢を踏まえた対応策

## 消防の任務

### 消防組織法 第一条

- ① 国民の生命、身体及び財産を火災から保護する
- ② 水火災又は地震等の災害を防除し、被害を軽減する
- ③ 災害等による傷病者の搬送を適切に行う

災害等による傷病者の搬送を適切に行う

= (消防機関が行う) 救急業務

救急業務の対象：消防法第二条第九項

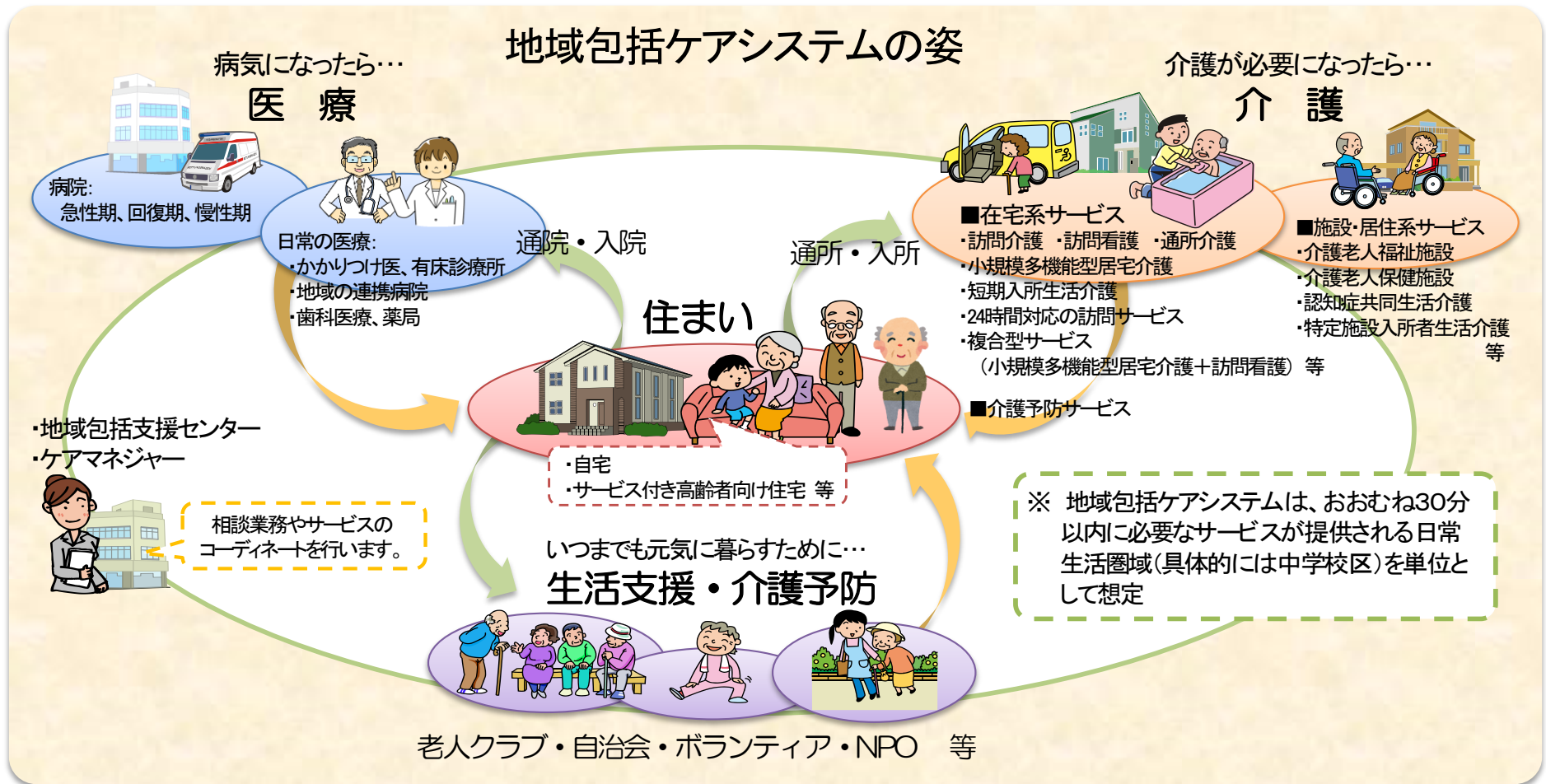
- ① 災害により生じた事故
- ② 屋外もしくは公衆の出入りする場所において生じた事故
- ③ 屋内において生じた事故または生命に危険を及ぼす恐れがある疾病のうち、傷病者を医療機関へ迅速に搬送するための適当な手段がない場合

## 目次

- 消防救急の現状
- 消防の救急業務
- 将来の社会情勢を踏まえた対応策

# 将来の社会情勢を踏まえた対応策

## 超高齢社会・人口減少社会における持続可能な医療体制の構築



## 高齢者救急問題の現状とその対応策についての提言 2024

令和6年12月20日

日本救急医学会、日本臨床救急医学会、日本老年医学会  
日本緩和医療学会、日本病院前救急診療医学会、  
日本在宅医療連合学会、日本プライマリ・ケア連合学会、  
日本慢性期医療協会、日本在宅救急医学会、  
日本救急看護学会、日本ケアマネジメント学会、  
全国在宅療養支援医協会、日本在宅看護学会、  
全国老人福祉施設協議会

Key words:

アドバンスド・ケア・プランニング(ACP)、看取り、市民、高齢者福祉施設  
Advanced Care Planning, End-of-life care, citizens, elderly care facilities

責任著者/連絡先(Corresponding Author): 真弓俊彦, Toshihiko Mayumi

所属: 日本救急医学会, The Japanese Association for Acute Medicine

連絡先: mtoshi0521@gmail.com



## 高齢者救急問題の現状とその対応策についての提言2024

- 高齢者施設管理者・職員の方々へ

### 【提言1】

いざという時のために、ご本人とご家族等にアドバンス・ケア・プランニング（ACP）について御説明いただき、ご本人が最後までどのように過ごしたいか、ご本人の望む医療・ケアや望まれる看取り方について、ご本人とご家族等の話し合いを支援し、共有できるようにしませんか。

### 【提言2】

配置医師（主治医・連携医）、外部医師及び看護・介護・ケアなどすべてのスタッフと協議し、施設での看取りなどの、いざという時の施設としての対応を共有しておきませんか。

## 高齢者救急問題の現状とその対応策についての提言2024

- 高齢者の医療・ケアに日常的に関係する医療・福祉スタッフの方々へ

### 【提言1】

日常から、ご本人が希望する最後の過ごし方について、ご本人・ご家族等との話し合いを多職種で支援し、ご本人の希望を皆さんで共有しておきませんか。

### 【提言2】

高齢者の急変に備えましょう。

高齢者の急変に備えて

## 【救急車を要請する時】救急隊に伝えてほしい情報



### ○救急車を要請することになった経緯

- ・いつから？、どうなった？（突然？）
- ・普段とどう違うのか？
- ・**発症（受傷）の目撃の有無**は特に重要  
目撃が無ければ、最後に正常（普段どおり）であることを確認した日・時間帯を伝えてください。

## 【救急車を要請する時】準備しておくもの

- 救急隊への情報提供表（または、これに代わる情報シート）
- 保険証（介護保険証）
- お薬手帳
- 現在服用中の薬

# 将来の社会情勢を踏まえた対応策

## 高齢者の急変に備えて

### 救急要請の手引き

介護老人保健施設・老人福祉施設等における

救急ガイドブック



堺市消防局

堺地域メディカルコントロール協議会

### 記入例 救急隊への情報提供表

【別添1-2】

【事前記載事項】：利用者ごとに事前に記載しておいてください。

フリガナ	さかい たろう	年齢	〇〇歳	性別	男・女
氏名	堺 太郎	生年月日	M・T・S・H	〇年〇月〇日	
TEL	施設に同じ	住所	施設に同じ		
病歴等	現在治療中の病気・ケガ 慢性心不全、高血圧、糖尿病	既往歴	肺炎、脳梗塞		
常用服用薬	ダイアード、AMロジノンOD、 グルコバイオム	アレルギー	(有)・無		
日常生活	会話 可能・一部可能 (不)	歩行	可能・一部可能 (不)		
かかりつけ病院名 (診療券番号も分ければ記載)	〇〇病院 000-000	担当医師名	〇〇医師		
ACPを取り扱った医療機関 (診療券番号も分ければ記載)	〇〇病院 000-000	担当医師名	〇〇医師		
ACPを取り扱った医療機関の連絡先	000-000-0000				
心臓停止時に心肺蘇生を望まない本人の意思がある	(有)・無				
緊急連絡先 (家族等)	氏名	堺 花子	TEL	000-000-0000	
	住所	〇〇市〇〇区〇〇	続柄	娘	

青色枠内は事前に記載をお願いします。利用者ごとに記入しておいて下さい。

たくさん既往歴や服用薬があり記入が全てできない場合は、全てを記入できなくても構いません。

以上については、年 月 日現在の情報です。

※ACP(アドバンスケアプランニング「人生会議」)：人生の最終段階における医療ケアについて、本人が家族等や医療ケアチームと繰り返し話し合う取り組み

【119番通報時の記載事項】：本日救急搬送を要請するに至った理由などを記載してください。

発症(受傷)を目撃しましたか？ はい( ) 日 時 分頃 ( ) いいえ

普段どおりの状態を最後に確認したのはいつですか？ 〇日 〇時 〇分頃

発症または発見時の状況、主な訴えや症状など

意識レベル：JCS I-3

巡回時に息苦しさを感じたため119番通報をしました。

呼吸 : 20回

脈拍 : 100回

血圧 : 120/90

SpO<sub>2</sub> : 90%

体温 : 36.7℃

最後の食事：12時00分頃

赤枠内は119番通報時に記載をお願いします。救急要請後、早期に記入して下さい。応急処置等が必要とされる場合は手分けして記入していただくようお願いいたします。

救命処置が必要な場合には、黄色の網掛け部分の情報が重要となりますので、記入をお願いします。

【お願い事項】

- 呼吸が無い場合は、一次救命処置を行ってください。
- すみやかな処置の実施のため、玄関の鍵錠・患者の居場所への誘導をお願いします。
- 救急搬送の際の付き添い(事情がよく分かる方)をお願いします。

記載していただいた事項は、救急業務以外には使用いたしません。



堺市消防局

「救急隊への情報提供表」は堺市消防局ホームページに掲載しています。



- ✓ 増加する高齢者救急搬送（2040年頃まで）
- ✓ 緊急搬送手段（救急車）及び搬送先（救急医療機関）には限りがある
- ✓ 介護、看護で関わっている高齢者のために、救急車や救急医療機関をあてにしない仕組み（体制）づくりを